

令和7年度 第3回大阪府立貝塚高等学校 学校運営協議会【議事録】

【実施日】令和8年1月28日(水) 15:30~16:50

【場 所】貝塚高等学校 メモリアルルーム

【出席者】奏様 佃様 西川様 鉄沢様

川端(校長) 中村(教頭) 四反田(首席) 松下(首席) 西本(進路指導部長)

今井(生徒指導部長) 秋山(3年次主任) 楠本(書記)

1. 開会
2. 会長挨拶

3. 議事

(1)生活指導状況について

遅刻6366件 (昨年)5313件

欠席6138件 (昨年)5832件

(質疑)

Q:自転車の交通違反に対する反則金制度について、貝塚警察等に講習をしてもらうのか？
市立中学校ではポスターなどを貼るという話が出ている。

A:今年度は切符についての講習の予定はない。始業式で生活指導から周知する。

(2)広報活動について

次回学校説明会は2/14

説明会の参加者について、堺市や大阪市が増えている

目的として、受験の下見の割合が増えている

学校を知るきっかけとしてホームページの割合が高く、Instagramの影響も増えている

12月の段階で、「絶対受験したい」の割合が増えている

「他校と比較したい」の割合は減ってきている(本命で来ている方が多くなっている)

(3)学校教育自己診断の結果について

全般的に、生徒からの肯定的評価は高い

一方で、保護者からの肯定的評価は減少傾向にある

「子どもは、授業はわかりやすく楽しいと言っている」(保護者)が55.4%と低い

保護者と生徒のギャップがある

アンケートを紙媒体からフォームに変更したことで母数が減ってしまった

Q:保護者への情報はあがるが、めざしていることが伝わっていないのではないか？

A:来年度はともに育てるという思いを共有していきたい

(4)授業アンケートの結果について

全生徒が、受けている講座のすべてに回答する必要があり、数が多く情報量が多い

肯定率が例年に比べ非常に高い

例年になく、7月より12月の肯定率が高い項目が半数ほどある

生徒が、教員からの思いを受け取ってくれているのではないかと

(5) 学校経営計画について

○今年度について

教員: 学習力向上委員会の尽力により、勉強会を10回程度行った

保護者の安心感を得るために、動画配信や参観など

日々の生徒への声かけが、人権教育につながっている

生徒と先生の対話ができきている

狙いや成果を保護者に発信できるようにしていきたい

「担任以外に気軽に相談できる人がいる」の割合が下がっている

⇒担任の負担が偏っているのでは？

⇒教員同士のリスペクト、働き方改革に向けて次年度も高めていきたい

(質疑)

Q: 校内研修の内容はどのようなものか？

A: ICT機器の基本的な使い方について、グーグルマップ、スクールAI、VIDS等の使い方

⇒授業内で、生徒の学びにどのようにつなげていくか、生徒にアンケートを取って効果を
確認

Q: 細かく研修をするのはいいことだ。教員からのニーズがあった？

A: 教員の声もある。学習力向上委員会が生徒のことをよく考えてくれた。

先生の検証がよかった。

⇒ICTを使ってみましょうの段階ではなく、どのような効果があるかを考えられている。

Q: 保護者のアンケートで、命や人権に関する項目で肯定的評価が下がっている。AED講習会などで、保護者が参加できるようにしているのか？保護者に対して、ホームページに動画を載せてアピールしてみてもは。

A: 平日が多く、参加しにくいのではないかと。ホームページに掲載するなど工夫をする。

○次年度について

令和7年度から変更のある項目を中心に校長が説明し、この場で承認された。

(6) 貝塚高校教育フェスタについて

他のパックの学びを見ることができる機会をつくりたい

学校全体の取り組みにしたい⇒全教科から発表等を1つずつに変更

ファッションデザイン、英コミュが新たに追加

コスモスシアター以外のものは校舎で展示

1, 2年生にも次年度の参考にしてもらう

(7) 進路指導状況

20期生: 進学・就職の割合は例年の傾向と変わらない

文系が多い。今までに比べ、看護医療系が多い。

短大のニーズは全国的に減ってきている

専門学校は例年通り

看護系専門: 全員合格

就職: 学校斡旋での希望者は全員内定を得ている。今年度は警察に合格あり

(8)3年次団について

学校生活の充実、進路も決めることを目標にしてきた。

コミュニケーション力が身についたと25%以上生徒が答えた。

行事での役があることで、他学年や多くの生徒をまとめる経験をした

総合学科で選択授業が多い。選択授業で多くの違う生徒とグループワークなどを行うことで、コミュニケーション力を身につけていると思う。

コロナ世代でコミュニケーションが制限されてきていたからこそ、意識して大事にしていたのかもしれない。職員室にも生徒がよく来る。

欠席・遅刻が多かったが、中学時代にコロナ禍により少しの体調不良でも帰らされていた経験が原因の一つにあるのか。

卒業式は2月27日

(9)その他

なし

4. 質疑応答

Q:看護医療系に行く生徒が多い。貝塚高校では看護医療系に力を入れているのか？

A:総合学科で9つのパックから自分の学びたいことに合わせて選んでもらっている。看護に進みたい生徒の間で看護医療系に進みたいという意識が共有されることで結果につながっていると考えられる。

5. 閉式